MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

ミステリ読書案内

２０２３．３．１　発行元
第 452 号　伊藤　剛
https://mystery-dokuan.com

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

森村誠一の代表作

森村誠一の代表作についてである。あまりにも作品数が多いのでどれを選ぶか迷ってしまう。映画やテレビドラマになったものだけでも膨大な量がある。まあ、それでも比較的初期の頃の作品の中から選ぶことにした。

初期作品は本格もの要素が強い

森村誠一がミステリ作家としての地位を固めたのは１９６９年の『高層の死角』から。それ以前の作品もあるのだが、ミステリとは呼べないものが多い。『高層の死角』以降は方向性が定まり、比較的本格もの要素が含まれた作品を連発している。『人間の証明』までが一区切りのような気がする。

ということで『人間の証明』までの期間で『日本アルプス殺人事件』と『新幹線殺人事件』を選んだ。山岳ミステリからひとつ、トラベルミステリからひとつという選択である。振り返ってみれば、当時の日本ミステリ界の本流に沿った形の作品だったと言えるかもしれない。

『高層の死角』を取り上げることも考えたが、後の作品の方がよりまとまっていると感じているので今回は選ばなかった。他に『虚構の空路』『棟居刑事の復讐』『東京空港殺人事件』『野性の証明』『腐蝕の構造』『名誉の条件』なども候補としては考えてみた。

森村作品の多くが比較的手に入りやすい状態にあるのはこの先それほど長くないかもしれない。読みたいと思う人は今買い集めておくことがよいと思う。

NO.3「新幹線殺人事件」

第３６３号で取り上げたのは『新・新幹線殺人事件』。本書はその前作に当たる。１９７０年カッパノベルス。『高層の死角』で乱歩賞を取った翌年の作品。ミステリとしての仕上がりは本書の方がずっと上。

東京駅到着寸前の新幹線ひかり 66 号のグリーン車で大阪の芸能プロの事務局長の男性が刺殺されているのが見つかった。周りの席は皆切符は売れているのにずっと空いたままだったという。捜査を進めていく中で容疑者が浮かぶのだが、その人物は大阪駅を 10 分遅く出発する「こだま」に乗っていたというのだ。この頃に盛んに書かれたアリバイ崩しの形。大阪万博直前の芸能界の人間関係を取り入れたところが森村作品らしい特徴である。

NO.1『人間の証明』

１９７６年角川書店。『野性時代』に連載された後、単行本になった。角川映画と連動していて、私が学生時代だった頃大きな話題となった作品。その意味では森村の一番の代表作である。あまりにも話題になり過ぎて、当時の私は避けて通った。実際に読んだのはずっと後。

冒頭、ニューヨークから日本にやってきた黒人の青年・ジョニー・ヘイワードが東京ロイヤルホテルのエレベーター内でナイフで刺された形で発見されるところから始まる。ホテルに乗せてきたタクシー運転手の証言によれば、乗る時には既に刺されていたらしい。わずかに聞き取れた言葉は「ストウハ」だけだったようだ。やがてヘイワードがタクシーに乗った公園付近の捜査に当たった那須班の棟居刑事が古い麦わら帽子を拾ってきた。「麦わら＝ストロー」ではないかと考えた。更に捜査を進めると空港から乗せたという別のタクシーの座席から西条八十の詩集が見つかった。ここで映画の宣伝使われた「母さん、僕のあの帽子、どうしたでせうね？」の台詞が登場してくる。この後、ニューヨークで捜査を担当するケン・シュフタン刑事など各方面の話に広がっていき、事件はさまざまな角度から描き出されていくことになる。棟居刑事最初の事件。

No.2『「日本アルプス殺人事件』

１９７２年カッパノベルス。森村誠一の山岳ミステリの最高峰とも言うべき作品。山・登山を取り上げ、なおかつ観光開発と自然破壊などの社会問題と結び付け、本格ミステリとしてのトリックも備えている。初期の森村ミステリの魅力に溢れている。

巻頭に３つの事件・事故の短い描写がある。白馬岳近くをスキーで滑り降りる男女の出来事。その半年後に東京の超高層ビルで起きた火災での出来事。更に晩秋になって乗鞍岳に向かうアルペンロードで急な吹雪に襲われた車に乗っていた男女の出来事。これらが物語全体にどう関わっていくのかは読み進めなければわからない。そして、本論の槍ヶ岳の観光開発につながる展開が開始される。福祉省国立公園局長・門脇秀人が娘の美紀子と上高地に旅行に出掛けた時、観光会社の弓場、電鉄会社の国井、バス会社の村越という三人の若者と出会う。弓場、国井、村越の三人は同じ大学のワンゲル部の出身だが、現在は北アルプスの観光開発を担当するライバルの関係にある。揃って美紀子にプロポーズすることになるのだが…。しかし、一番気に入られた国井が東京のマンションの中で刺殺されているのが発見されて…。容疑者のアリバイが問題となっていく。